

## 東大阪市支援教育研究会おたのしみ会の報告

今年も、東大阪市支援教育研究会恒例の「おたのしみ会」が東大阪市市民会館大ホールで行なわれました。市内の小中学校の支援学級に通う子どもたちが、待ち望んでいる行事です。今回は15中学校、46小学校、児童生徒約380人、職員200人、保護者約400人の参加で、ホールは2階まで一杯になりました。

演技は、市内小中学校を7つのブロックに分け、ブロック毎に発表しました。まず初めに西南ブロックが劇で「カレーライスがにげだした」、2番に中南ブロックがダンスで「みんなで行進・楽しい体操&手話」3番目に東北ブロックもダンスで「ワクワク祭り」、4番目に西中ブロックがリズム「手のひらを太陽に」、5番目は東南ブロックが歌とダンスで「崖の上のポニョ」「ワッハッハ」、6番は中北ブロックが民謡とダンス「民舞ポニョポニョ中北ゴー」、最後に西北ブロックが劇で「きつねのおきやくさま」を見せてくれました。どのブロックも力一杯の演技をしていて、見ていた児童や保護者から大きな拍手をもらっていました。

昼食後は、手品やバイオリン奏があり、最後にサンタクロースが来て児童・生徒全員にすてきなプレゼントが手渡され、みんな大喜びでした。時間があっという間に過ぎた楽しい一日でした。（枚岡西小 深堀）

